



Sun Ultra™ 40 M2 Workstation 設置マニュアル

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

部品番号 820-0342-10
2006年10月、改訂A

本書に関するコメントは、次の宛先までお送りください。<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2006 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以降、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記載されている技術に関連する知的所有権を所有しています。特に、これに限定されず、これらの知的所有権には、[top://www.sun.com/patents](http://www.sun.com/patents) に掲載されている1つまたは複数の米国特許、米国ならびに他の国における1つまたは複数の特許または申請中の特許が含まれます。

本書および本製品は、その使用、複製、再頒布および圧縮解除を制限するライセンスに基づいて頒布されます。米国 Sun Microsystems 社またはそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、本書または製品のいかなる部分もいかなる手段および形式によっても複製することを禁じます。

本製品に含まれるサードパーティソフトウェア(フォントに関するテクノロジーを含む)は、著作権を有する当該各社より米国 Sun Microsystems 社へライセンス供与されているものです。

本製品の一部は、Berkeley BSD systems に由来し、University of California からライセンスを受けています。UNIX は、X/Open Company, Ltd. の米国ならびに他の国における登録商標で、X/Open Company, Ltd. が所有する独占的ライセンス供与権に基づいて、米国 Sun Microsystems 社にライセンス供与されています。

Sun, Sun Microsystems, Sun のロゴマーク、AnswerBook2, docs.sun.com, Sun Ultra, Java, および Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、ビジュアルまたはグラフィカルユーザーインターフェースの概念を先駆的に研究、開発し、コンピュータ業界に貢献した Xerox 社の業績を高く評価いたします。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK GUI を実装し、そうでなければ書面によるライセンス契約に従う米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

米国政府の権利—商用。政府関連のユーザーは、米国 Sun Microsystems 社の標準ライセンス契約、および FAR とその補足条項に従う必要があります。

本書は、「現状のまま」の形で提供され、法律により免責が認められない場合を除き、商品性、特定目的への適合性、第三者の権利の非侵害に関する暗黙の保証を含む、いかなる明示的および暗示的な保証も伴わないものとします。

Copyright 2006 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, Californie 95054, Etats-Unis. Tous droits réservés.

Sun Microsystems, Inc. a les droits de propriété intellectuels relatants à la technologie qui est décrit dans ce document. En particulier, et sans la limitation, ces droits de propriété intellectuels peuvent inclure un ou plus des brevets américains énumérés à <http://www.sun.com/patents> et un ou les brevets plus supplémentaires ou les applications de brevet en attente dans les Etats-Unis et dans les autres pays.

Ce produit ou document est protégé par un copyright et distribué avec des licences qui en restreignent l'utilisation, la copie, la distribution, et la décompilation. Aucune partie de ce produit ou document ne peut être reproduite sous aucune forme, par quelque moyen que ce soit, sans l'autorisation préalable et écrite de Sun et de ses bailleurs de licence, s'il y en a.

Le logiciel détenu par des tiers, et qui comprend la technologie relative aux polices de caractères, est protégé par un copyright et licencié par des fournisseurs de Sun.

Des parties de ce produit pourront être dérivées des systèmes Berkeley BSD licenciés par l'Université de Californie. UNIX est une marque déposée aux Etats-Unis et dans d'autres pays et licenciée exclusivement par X/Open Company, Ltd.

Sun, Sun Microsystems, le logo Sun, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun Ultra, Java, et Solaris sont des marques de fabrique ou des marques déposées de Sun Microsystems, Inc. aux Etats-Unis et dans d'autres pays.

L'interface d'utilisation graphique OPEN LOOK et Sun™ a été développée par Sun Microsystems, Inc. pour ses utilisateurs et licenciés. Sun reconnaît les efforts de pionniers de Xerox pour la recherche et le développement du concept des interfaces d'utilisation visuelle ou graphique pour l'industrie de l'informatique. Sun détient une licence non exclusive de Xerox sur l'interface d'utilisation graphique Xerox, cette licence couvrant également les licenciées de Sun qui mettent en place l'interface d'utilisation graphique OPEN LOOK et qui en outre se conforment aux licences écrites de Sun.

LA DOCUMENTATION EST FOURNIE "EN L'ÉTAT" ET TOUTES AUTRES CONDITIONS, DECLARATIONS ET GARANTIES EXPRESSES OU TACITES SONT FORMELLEMENT EXCLUES, DANS LA MESURE AUTORISÉE PAR LA LOI APPLICABLE, Y COMPRIS NOTAMMENT TOUTE GARANTIE IMPLICITE RELATIVE A LA QUALITE MARCHANDE, A L'APTITUDE A UNE UTILISATION PARTICULIERE OU A L'ABSENCE DE CONTREFAÇON.



リサイクル
してください



Adobe PostScript

目次

はじめに v

1. システムのセットアップ 1

設置プロセスの計画 2

 パッケージ内容 3

 前面パネルと背面パネルの仕様 4

 側面カバーの概要 8

ワークステーションのケーブル接続 9

ワークステーションの電源投入 10

ワークステーションの電源切断 10

オペレーティングシステムとドライバの設定 11

 インストール済みの Solaris 10 オペレーティングシステムの設定 12

 別のオペレーティングシステムやドライバのインストール 13

 別のオペレーティングシステムやドライバをインストール
 するには 14

インストール済みの開発者向けソフトウェアについて 16

 Sun Studio ソフトウェア 17

 Sun Java Studio Creator 17

 Sun Java Studio Enterprise 18

 NetBeans IDE 18

セカンダリ PCI-E グラフィックカードの有効化 19

2. 設置に関するトラブルシューティングおよびドキュメント 21

Sun Ultra 40 M2 Workstation の設置に関するトラブルシューティング 22

テクニカルサポート 24

Sun Ultra 40 M2 Workstation のドキュメント 26

ドキュメントへのアクセス 26

ローカライズ版 26

はじめに

本書では、ワークステーションのハードウェアの設置、電源投入、および構成とソフトウェアの設定について説明します。

本書の構成

本書は次の章で構成されています。

第1章では、ワークステーションの開梱、ケーブル接続、電源投入の方法、およびインストール済みの Solaris™10 オペレーティングシステムとその他の開発ソフトウェアの設定方法について説明します。

第2章では、システムに関する問題のトラブルシューティングとサポートの手配について説明します。

シェルプロンプト

シェル	プロンプト
C シェル	<i>machine-name%</i>
C シェルスーパーユーザー	<i>machine-name#</i>
Bourne シェルと Korn シェル	\$
Bourne シェルと Korn シェルスーパーユーザー	#

表記上の規則

書体*	意味	例
<i>AaBbCc123</i>	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、および画面上のコンピュータ出力を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。 % You have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力とは区別して示します。	% su Password:
<i>AaBbCc123</i>	書名、新しい用語、強調する語句、および変数を示します。変数の場合には、実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	『ユーザーズガイド』の第 6 章を参照してください。 これらはクラスオプションと呼ばれます。 これを行うには、スーパーユーザーである必要があります。 ファイルを削除するには、rm <ファイル名> と入力します。

* ご使用のブラウザの設定によっては、表示内容が多少異なる場合もあります。

関連ドキュメント

Sun Ultra 40 M2 Workstation のドキュメントセットについては、システムに付属している『Where To Find Sun Ultra 40 M2 Workstation Documentation (Sun Ultra 40 M2 Workstation ドキュメントの場所)』(819-7576)で説明しています。すべてのドキュメントは、次の製品ドキュメントサイトで公開されています。

<http://www.sun.com/documentation>

これらのドキュメントの一部については、製品ドキュメントサイトで簡体字中国語、繁体字中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、およびスペイン語の翻訳版が入手可能です。

英語版は頻繁に改訂されており、翻訳版よりも最新の情報が記載されています。

ドキュメント、保証、サポート、 およびトレーニング URL

分野	URL	説明
ハードウェア ドキュメント	http://www.sun.com/documentation	Sun ハードウェアドキュメント
ソフトウェア ドキュメント	http://docs.sun.com	Solaris OS およびその他のソフトウェア ドキュメント
保証	http://www.sun.com/service/support/ warranty/index.html	保証に関する詳細な情報が確認できます
サポート	http://www.sun.com/support/	パッチなどのテクニカルサポートを利用 できます
トレーニング	http://www.sun.com/training/	Sun の各種トレーニングコースや教育サ ービスについて案内しています

コンポーネントの注文

Sun Ultra 40 M2 Workstation の追加コンポーネントや交換部品を注文できます。詳細は、最寄りの Sun 営業担当者にお問い合わせください。最新のコンポーネント情報については、次のサイトで Sun Ultra 40 M2 Workstation コンポーネントリストを参照してください。

http://sunsolve.sun.com/handbook_pub/

サードパーティーの Web サイト

Sun 社は、本書で挙げているサードパーティーの Web サイトの利用について責任を負いません。また、当該サイトまたはリソースから入手可能なコンテンツや広告、製品またはその他の素材を推奨したり、責任あるいは法的義務を負うものではありません。さらに、他社の Web サイトやリソースに掲載されているコンテンツ、製品、サービスなどの使用や依存により生じた実際の、または疑わしい損害や損失についても責任を負いません。

コメントをお寄せください

Sun 社は、ドキュメントの改善を常に心がけており、皆様のコメントや提案を歓迎いたします。コメントは次のサイトを通してお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback/>

フィードバックには、本書のタイトルと部品番号の記載をお願いいたします。
Sun Ultra 40 M2 Workstation 設置マニュアル、820-0342-10

システムのセットアップ

この章では次の項目について説明します。

- 2 ページの「設置プロセスの計画」
- 10 ページの「ワークステーションの電源投入」
- 9 ページの「ワークステーションのケーブル接続」
- 10 ページの「ワークステーションの電源切断」
- 11 ページの「オペレーティングシステムとドライバの設定」
- 19 ページの「セカンダリ PCI-E グラフィックカードの有効化」

設置プロセスの計画

Sun Ultra 40 M2 Workstation を設置する際に、次のフローチャートを参考として使用してください。

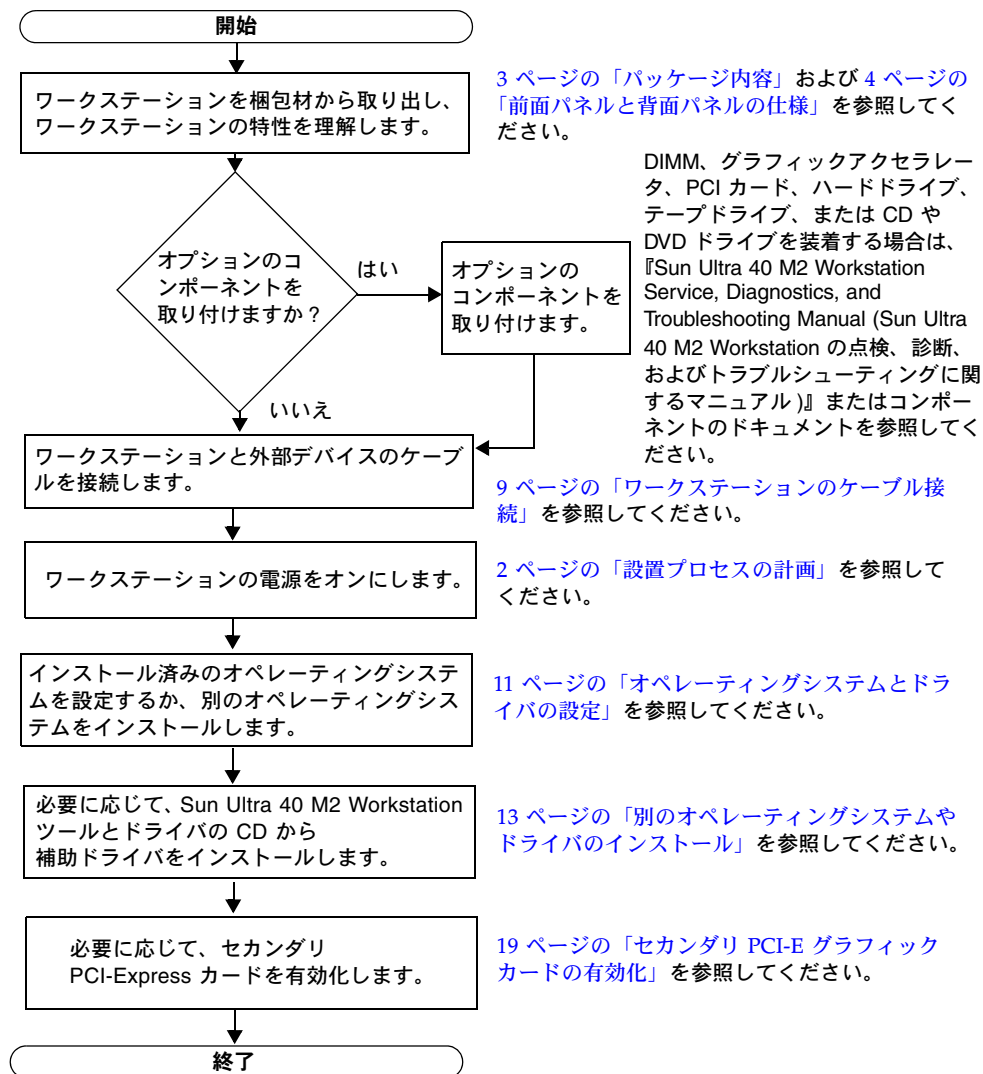


図 1-1 Sun Ultra 40 M2 Workstation のセットアッププロセス

パッケージ内容

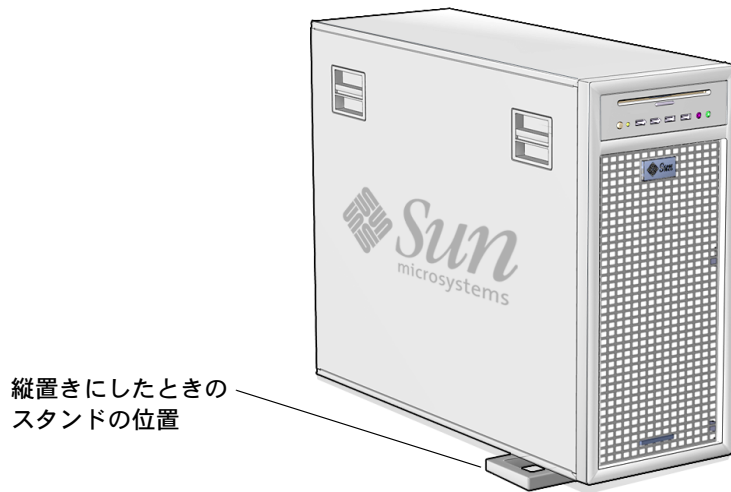
パッケージの箱を開けて、Sun Ultra 40 M2 Workstation のすべてのコンポーネントを注意して取り出します。表 1-1 は、Sun Ultra 40 M2 Workstation のパッケージに入っているアイテムの一覧です。

表 1-1 パッケージ内容

アイテムのタイプ	アイテム
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none">• Sun Ultra 40 M2 Workstation• DVI ビデオアダプタ• DMS-59 ケーブル (NVS285 グラフィックカードが取り付けられている場合)• SLI コネクタ (ワークステーションに SLI に対応したデュアルビデオカードが取り付けられている場合)• 3 枚以上のグラフィックカードに対応するための Y スプリッタケーブル (工場出荷時に XATO が取り付けられていない場合)• イーサネットケーブル
マニュアル	<ul style="list-style-type: none">• Sun Ultra 40 M2 Workstation 設置マニュアル
CD/DVD メディア	<ul style="list-style-type: none">• Sun Ultra 40 M2 ツールとドライバの CD• DVD メディアキット (Sun™ Studio 11、Sun Java™ Studio Creator Update 8、および Sun Java™ Studio Enterprise Update 8 を収録)
その他のハード ウェア	Type 7 キーボード、マウス、および電源コード

各国用のキットを注文した場合は、別梱包で電源ケーブル、キーボード、およびマウスが配送されます。

注 – ワークステーションには、図 1-2 で示すとおり、スタンドが付属しています。システムを縦置きにする場合は、このスタンドを図のとおり位置に置く必要があります。



縦置きにしたときの
スタンドの位置

図 1-2 縦置きにしたワークステーション

前面パネルと背面パネルの仕様

図 1-3 および表 1-2 はワークステーションの前面パネルを示しています。

このセクションでは、Sun Ultra 40 M2 Workstation の前面パネルと背面パネル、および側面カバーの仕様について説明します。

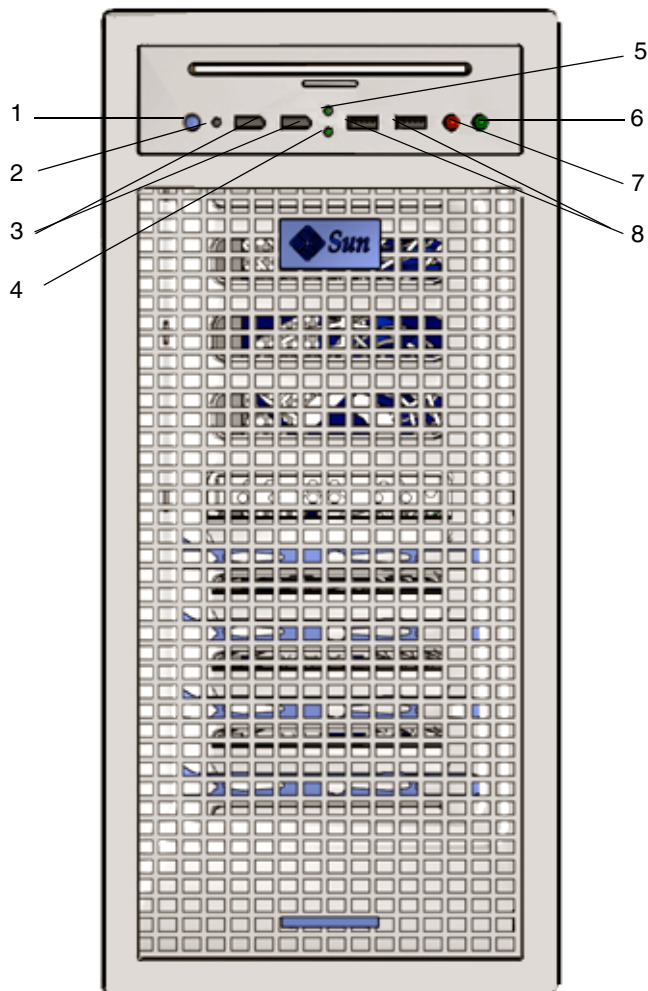


図 1-3 ワークステーションの前面パネル

表 1-2 前面パネルの仕様

ラベル	ボタン/LED/ポート	ラベル	ボタン/LED/ポート
1	電源ボタン	5	DVD 稼働インジケータ LED
2	電源 LED	6	ヘッドホン出力ジャック
3	1394 ポート (2 個)	7	マイク入力ジャック
4	HD 稼働インジケータ LED	8	USB ポート (2 個)

図 1-4 および表 1-3 はワークステーションの背面パネルを示しています。

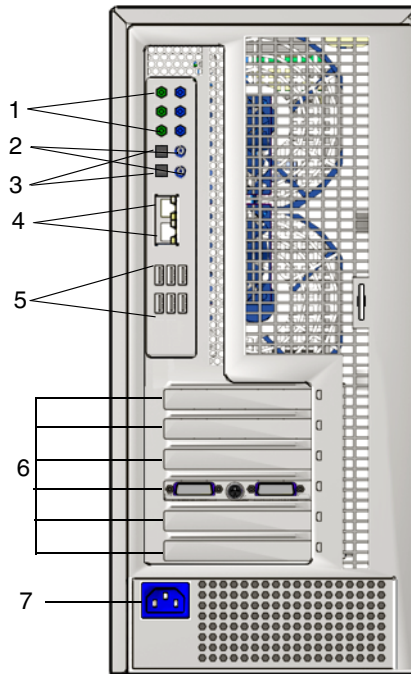


図 1-4 ワークステーションの背面パネル

表 1-3 背面パネルの仕様

ラベル	コネクタ/スロット	ラベル	コネクタ/スロット
1	オーディオコネクタ (6 個)	5	USB コネクタ (6 個)
2	SPDIF 同軸 (上: 出力、下: 入力)	6	PCI スロット (詳細は表 1-4 を参照)
3	SPDIF 光学 (上: 出力、下: 入力)	7	電源コネクタ
4	イーサネットコネクタ (2 個)		

表 1-4 PCI カードスロットおよびコネクタの仕様 (上から下へ)

PCI カードスロット	サポートする処理速度	電源コネクタ
PCI-E3	x16 セカンダリグラフィック	GFX2_PWR_OUT から (6 ピン Y アダプタ)
PCI-E2 x4	機構的には x16、電気的には x8	なし
PCI-E1	x16 プライマリグラフィック	GFX1_PWR_OUT から (6 ピンから 6 ピンへ)
PCI-0	PCI 33 MHz/32 ビット	なし
PCI-E0 x8	機構的には x16、電気的には x8	なし

側面カバーの概要



注意 – 側面カバーを取り外す前に、必ずワークステーションの電源をオフにしてください。

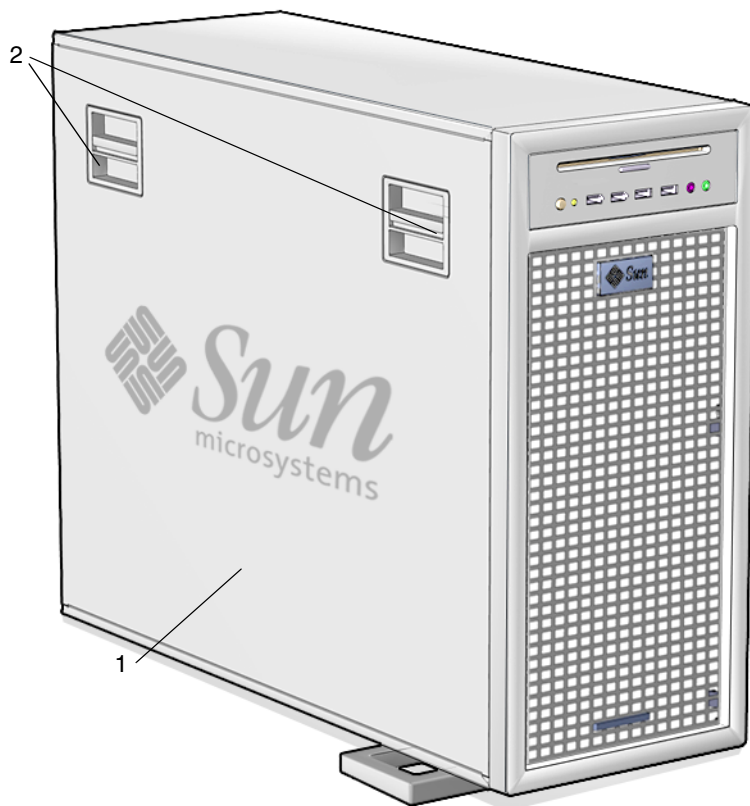


図 1-5 側面カバー

表 1-5 側面カバーのコンポーネントの概要

アイテム	コンポーネントの説明
1	側面カバー
2	ラッチ (2つ)

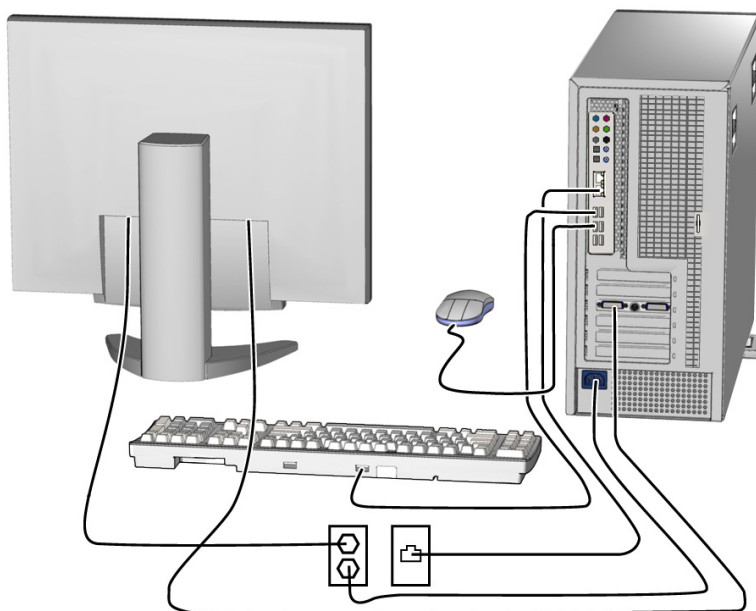


図 1-6 ケーブル接続

ワークステーションのケーブル接続

1. ワークステーションの電源コードをアースされた電源コンセントに接続します。
2. キーボードとマウスを、背面パネルの USB コネクタに接続します。
3. PCI-Express グラフィックスロットに取り付けられたグラフィックカードのビデオコネクタに、モニターのケーブルを接続します。

注 - グラフィックカードをモニターに接続するには、ワークステーションに付属の DVI アダプタが必要な場合があります。ワークステーションに NVS285 グラフィックカードが取り付けられている場合は、ワークステーションに DMS-59 ケーブルが付属しています。これ以外のグラフィックカードを使用している場合は、そのカードに適したアダプタを使用する必要があります。

4. イーサネットケーブルの一方の端を Sun Ultra 40 M2 Workstation のイーサネットコネクタの 1 つに接続し、もう一方の端をイーサネット RJ-45 ジャックに接続します。
5. さらに外部デバイスがある場合は、ワークステーションのその他のコネクタに接続します。

ワークステーションの電源投入

このセクションでは、ワークステーションの電源をオンにする方法について説明します。

ヒント – メモリー DIMM や PCI カード、光学ドライブ、ハードドライブなど、オプションの内部コンポーネントを取り付ける場合は、そのコンポーネントを取り付けてからワークステーションの電源をオンにします。オプションのコンポーネントを取り付けない場合は、この時点でワークステーションの電源をオンにできます。

ワークステーションの電源をオンにするには、次の手順に従います。

1. モニターおよびすべての外部デバイスの電源をオンにします。
2. ワークステーションの前面パネルにある電源ボタンを押して放します。図 1-3 (1) を参照してください。
3. 数秒たってから、電源ボタンの横にあるプラットフォーム電源 LED が点灯していることを確認します。
プラットフォーム電源 LED は、ワークステーションの内部起動プロセスが開始してから点灯します。プラットフォーム電源 LED の場所については、図 1-3 (2) を参照してください。
4. はじめてワークステーションの電源をオンにする場合は、インストール済みのオペレーティングシステムを設定するか、ワークステーションの起動が完了してから、別のオペレーティングシステムをインストールします。11 ページの「オペレーティングシステムとドライバの設定」を参照してください。

ワークステーションの電源切断

このセクションでは、ワークステーションの電源をオフにする方法について説明します。

ワークステーションの電源をオフにするには、次の手順に従います。

1. 起動中のアプリケーションのデータを保存し、終了します。
2. 次にワークステーションの電源をオフにする方法について示します。この方法をすべて理解してから電源をオフにしてください。

- オペレーティングシステムの shutdown コマンドまたはメニューオプションを使用して、ワークステーションの電源をオフにします。

ほとんどの場合は、いずれの操作でもオペレーティングシステムが終了し、ワークステーションの電源がオフになります。

- オペレーティングシステムのコマンドを使用してもワークステーションの電源がオフにならない場合、またはこのコマンドを使用できない場合は、電源ボタンを押してから放します (ボタンの場所は [図 1-3](#) を参照)。

これによって、オペレーティングシステムが適切な順序でシャットダウンされ、ワークステーションの電源がオフになります。



注意 – データの損失を防ぐため、できるだけ上記の 2 つのオプションを使用するようにしてください。

- 推奨される最初の 2 つの方法を試してみても、ワークステーションの電源がオフにならない場合は、電源ボタンを 4 秒程押したままにします。

これによって、ワークステーションの電源は瞬時にシャットダウンされます。オペレーティングシステムによる介入はありません。この方法で電源をオフにすると、データが損失する可能性があります。

この方法でもワークステーションの電源がオフにならない場合は、『Sun Ultra 40 Workstation Service Manual (Sun Ultra 40 Workstation サービスマニュアル)』(820-0123) でトラブルシューティングに関する追加情報を参照してください。

注 – ワークステーションの電源をオフにした後、次に電源をオンにするまでには 4 秒以上お待ちください。

オペレーティングシステムとドライバの設定

このセクションでは、オペレーティングシステムの設定方法について説明します。インストール済みの Solaris 10 オペレーティングシステムを設定することも、別のオペレーティングシステムやドライバをインストールすることもできます。

オペレーティングシステムやソフトウェアの設定については、次の各セクションを参照してください。

- インストール済みのオペレーティングシステムを使用する場合は、[12 ページの「インストール済みの Solaris 10 オペレーティングシステムの設定」](#)を参照してください。

- 別のオペレーティングシステムを追加インストールする場合は、13 ページの「別のオペレーティングシステムやドライバのインストール」を参照してください。
- インストール済みの Sun Ultra 40 M2 Workstation ソフトウェアの詳細については、16 ページの「インストール済みの開発者向けソフトウェアについて」を参照してください。

インストール済みの Solaris 10 オペレーティングシステムの設定

このセクションでは、インストール済みの Solaris 10 オペレーティングシステムの設定方法について説明します。

表 1-6 を参照して必要な情報を収集してから、システムプロンプトに従って、オペレーティングシステムを設定します。インストール済みの Solaris 10 オペレーティングシステムの設定が正常に終了すると、デスクトップが表示されます。

表 1-6 インストール済みの Solaris 10 の設定に関する情報

設定ウィンドウ	説明	お客様の情報
Select Language and Locale	ワークステーションで使用するネイティブの言語とロケール。	
Host Name	ワークステーションの名前。	
Network Connectivity (IP Address)	ネットワークまたはスタンドアロンのワークステーションのプロトコル。この情報を収集するには、システム管理者の協力が必要な場合があります。 注：設定内容やネットワークから取得した情報によっては、ワークステーションの IP アドレスの入力を要求される場合があります。	
Security Settings	セキュリティ設定とプロトコル。	
Name Service	ネームサービス。使用可能なネームサービスは、NIS+、NIS、DNS、LDAP、または None のいずれかです。 注：ワークステーションがネットワークに接続されていない場合、このウィンドウは表示されません。	
Domain Name	このワークステーションの NIS または NIS+ ドメイン。 注：ワークステーションが NIS と NIS+ のいずれのサービスも使用していない場合、このウィンドウは表示されません。	

表 1-6 インストール済みの Solaris 10 の設定に関する情報 (続き)

設定ウィンドウ	説明	お客様の情報
Name Server/ Subnet/ Subnet Mask	<p>ネームサーバー。サーバーを指定するか、ワークステーションを使用してローカルサブネット上でサーバーを検出します。</p> <p>注: ワークステーションがネットワークに接続されていない場合、このウィンドウは表示されません。</p> <p>注: 設定内容やネットワークから取得した情報によっては、次の項目の入力を要求される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ワークステーションのサブネット • ワークステーションのサブネットマスク 	
Time Zone	その地域のタイムゾーン。地域、GMT オフセット、またはタイムゾーンファイルから選択します。	
Date and Time	現在の日付と時刻。デフォルトをそのまま使用するか、現在の日付と時刻を入力します。	
Root Password	ワークステーションの root (スーパーユーザー) のパスワード。	

別のオペレーティングシステムやドライバのインストール

このワークステーションには、Solaris 10 オペレーティングシステムがプリインストールされています。別のオペレーティングシステムをインストールする場合は、この時点でインストールします。このためには、Solaris 10 オペレーティングシステムの削除が必要になる場合があります。

別のオペレーティングシステムをインストールする場合、次の情報が役に立ちます。

- ドライバのインストール手順の概要については、14 ページの「別のオペレーティングシステムやドライバをインストールするには」を参照してください。
- 既存のオペレーティングシステムを削除し、別のドライバをインストールしてから、新たに別のオペレーティングシステムをインストールする手順の詳細については、『Sun Ultra 40 M2 オペレーティングシステムインストールガイド』(820-0350-10)を参照してください。このガイドは、次の Web サイトで入手できます。

http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Workstation_Products/Workstations/ultra_40/index.html

- サポートされているオペレーティングシステムに対応したドライバは、システムに付属の Sun Ultra 40 M2 Workstation ツールとドライバの CD に収録されています。
- Sun Ultra 40 M2 Workstation でサポートされているオペレーティングシステムの最新リストは、次の製品 Web サイトにあります。

<http://sun.com/ultra40>

別のオペレーティングシステムやドライバをインストールするには

ドライバのインストール手順の詳細については、『Sun Ultra 40 M2 オペレーティングシステムインストールガイド』(820-0350-10)を参照してください。

このセクションでは、オペレーティングシステムやドライバを追加インストールする基本手順について説明します。

オペレーティングシステムのインストール

このセクションでは、Linux、Windows、または Solaris オペレーティングシステムをインストールする方法について説明します。

オペレーティングシステムをインストールするには、次の手順に従います。

1. ワークステーションの電源をオンにします。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - Linux OS をインストール、または Solaris 10 オペレーティングシステムを再インストールするときに、BIOS の「Installed O/S (インストールされた OS)」オプションがデフォルトのまま変更されていない場合は、ステップ 3 に進みます。
 - Windows XP をインストールする場合、BIOS の設定を次のように変更します。
 - a. 「Advanced (詳細)」タブを選択し、「Installed O/S (インストールされた OS)」オプションを「Win2K/XP」に変更します。
 - b. F10 キーを押して、変更内容を保存して BIOS セットアップユーティリティを終了します。
3. ソフトウェアに付属している手順書に従って、オペレーティングシステムをインストールします。

注 - Windows XP に RAID ドライバをインストールする必要がある場合は、Windows XP OS をインストールする前に、新しい Windows CD を作成する必要があります。詳細については、『Sun Ultra 40 M2 オペレーティングシステムインストールガイド』(820-0350-10)を参照してください。

4. オペレーティングシステムのインストール後、次の手順のいずれか 1 つに従って、Sun Ultra 40 M2 Workstation ツールとドライバの CD から適切なドライバをインストールします。

Linux OS に対応したドライバのインストール

ツールとドライバの CD から、サポートされている Red Hat および SUSE オペレーティングシステムに対応したドライバをインストールするには、次の手順に従います。

1. Red Hat Enterprise Linux がインストールされている場合は、`up2date` ユーティリティを実行します。
2. CD が自動的にマウントされない場合は、手動で CD をマウントします。
3. ディレクトリ `/mountpoint/drivers/linux/operating_system` に移動します。

`mountpoint` には CD がマウントされているディレクトリを指定し、`operating_system` にはインストールされているオペレーティングシステム (`red_hat` または `suse`) を指定します。

4. `./install.sh` を実行します。

Windows XP OS に対応したドライバのインストール

ツールとドライバの CD から、Windows XP 32 ビットまたは 64 ビットに対応したドライバをインストールするには、次の手順に従います。

1. ディレクトリ `D:\drivers\windows\OS\chipset` に移動します。
OS には XP32 または XP64 を指定します。
2. 実行可能ファイルをダブルクリックします。
3. インストールソフトウェアの指示に従って操作します。
4. 次のディレクトリにあるビデオドライバに対して、上記の手順を繰り返し実行します。

`D:\drivers\windows\OS\video`

OS には XP32 または XP64 を指定します。

Solaris 10 OS に対応したドライバのインストール

インストール済みの Solaris をそのまま使用している場合、ドライバは既にインストールされています。ツールとドライバの CD から、再インストールした Solaris 10 オペレーティングシステムに対応したドライバをインストールするには、次の手順に従います。

1. `/cdrom/cdrom0/drivers/sx86` ディレクトリに移動します。
2. `./install.sh` を実行します。

インストール済みの開発者向けソフトウェアについて

Sun Ultra 40 M2 ワークステーションには、次の Sun 開発者向けソフトウェアの最低バージョンがプリインストールされているか、プリロードされています。開発者向けのソフトウェアパッケージの概要については、次のセクションでそれぞれ説明しています。

- Sun Studio 11 (17 ページの「Sun Studio ソフトウェア」を参照)
- Sun Java Studio Creator 2 (17 ページの「Sun Java Studio Creator」を参照)
- Sun Java Studio Enterprise 8 (18 ページの「Sun Java Studio Enterprise」を参照)
- NetBeans™ IDE 5.0 (18 ページの「NetBeans IDE」を参照)

システムには、このソフトウェアバージョンより新しいバージョンがインストールされている場合があります。

さらに、このワークステーションには、Sun の N1 Grid Engine に対する完全なライセンスが供与された RTU も 2 つ入っています。サポートを購入する際に、追加のライセンスは必要ありません。この RTU は、付属元の Ultra 40 M2 Workstation でのみ使用可能です。RTU は譲渡することも、他のハードウェアで使用することもできません。

Sun N1 Grid Engine をダウンロードするには、次の URL にアクセスし、「Get the Software」ボタンをクリックします。

<http://www.sun.com/gridware>

インストール済みのソフトウェアや CD メディアの詳細については、『Sun Ultra 40 M2 オペレーティングシステムインストールガイド』(820-0350-10)を参照してください。このドキュメント、およびその他の Sun Ultra 40 M2 Workstation ドキュメントは、次の Web サイトで入手できます。

http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Workstation_Products/Workstations/ultra_40/index.html

Sun Studio ソフトウェア

Sun Studio ソフトウェアを使用すると、Solaris OS 対応の、生産性の高い総合的な開発環境を利用でき、C、C++、および FORTRAN で信頼性、拡張性、および性能に優れたアプリケーションを開発できます。このソフトウェアのパッケージは、コンパイラ、パフォーマンス分析ツール、高性能デバッガ、および統合開発環境 (IDE) で構成されています。

Sun Studio IDE は、C、C++、または FORTRAN アプリケーションの作成、編集、ビルド、デバッグ、および分析を行うモジュールです。パッケージには、Java Native Interface (JNI) の開発に必要な場合に有効にすることができる、基本的な Java™ 言語サポートモジュールのセットも収録されています。

Sun Studio ソフトウェアは、次の 2 つの主要なコンポーネントで構成されています。

- IDE、コンパイラ、ツール、およびコアプラットフォームを含む Sun Studio コンポーネント
- コアプラットフォームが動作する Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) テクノロジ

Sun Studio ソフトウェアの詳細な情報は、次の Web サイトにある製品ドキュメントに記載されています。

<http://developers.sun.com/sunstudio>

Sun Java Studio Creator

Sun Java Studio Creator 開発環境 (旧「Project Rave」) は、Java アプリケーション開発のための次世代ツールです。この製品では、完全な Java 標準の機能と、簡潔で視覚的な開発技術が組み合わされているため、開発者が Java でアプリケーションを構築するときの効率性と生産性は非常に高くなります。

Java Studio Creator 環境は、ビジネスクリティカルなアプリケーションが変化に迅速に対応できることを中心に考える上級開発者を対象として、その要求性能を満たすように開発されテストされています。Java Studio Creator では、開発者にとって使い慣れた生産性の高い視覚的なインタフェースをそのまま使用できるので、Java プラットフォームの性能を有効活用し、ビジネス上の問題を解決することができます。

Sun Java Studio Creator の補足情報は、次の Web サイトにある製品ドキュメントに記載されています。

<http://developers.sun.com/jscreator>

Sun Java Studio Enterprise

Sun Java Studio Enterprise は、ツール、サポート、およびサービスをすべて一体化した費用効果に優れたプラットフォームで、Sun Java Enterprise System のすべての機能と統合可能な仕様になっています。Java Studio Enterprise を使用すると、次のような効果を得るために特に配慮された環境でアプリケーションを開発できます。

- 生産性の向上
- Java Enterprise System 上で運用する高度なネットワークアプリケーションの作成の簡略化

Sun Java Studio Enterprise の補足情報は、次の Web サイトにある製品ドキュメントに記載されています。

<http://developers.sun.com/jsenterprise>

NetBeans IDE

NetBeans IDE 5.0 には、Java 2 Platform、Enterprise Edition (J2EE) 開発機能が含まれています。今回の新しいリリースでは、Web 階層でのアプリケーション開発機能だけでなく、Enterprise JavaBeans (EJB) と Web サービスを開発する機能も追加されました。

NetBeans IDE は、すぐに使える開発機能を備えたシングルプラットフォームです。エンタープライズ (J2EE 1.4) アプリケーションおよび Web サービス、モバイル/ワイヤレス Java 2 Platform、Micro Edition (J2ME) アプリケーションおよびサービス、およびデスクトップ Java 2 Platform、Standard Edition (J2SE) アプリケーションをサポートしています。堅牢なオープンソース Java IDE は、Java ソフトウェア開発者がクロスプラットフォームデスクトップ、Web、およびモバイルアプリケーションを開発する際に必要とするあらゆる機能を搭載しています。

NetBeans IDE の詳細な情報については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.netbeans.org>

セカンダリ PCI-E グラフィックカードの有効化

下の PCI-Express x16 スロット (PCI-E 1) はプライマリグラフィックスロットです。デフォルトでは、このスロットに取り付けられたグラフィックカードからビデオを表示するように、BIOS が設定されています。このカードは、6 ピンから 6 ピンへの GFX1_PWR_OUT 補助電源コネクタから電源の供給を受けています。

セカンダリ PCI-Express x16 グラフィックスロット (一番上の PCI-E 3 スロット) を使用するには、次の手順に従って設定する必要があります。

- GFX2 補助電源コネクタをカードに接続します (カードで必要とされている場合)。電源コネクタの接続の詳細については、『Sun Ultra 40 M2 Workstation Service, Diagnostics, and Troubleshooting Manual (Sun Ultra 40 M2 Workstation の点検、診断、およびトラブルシューティングに関するマニュアル)』を参照してください。
- 次の手順に従って、BIOS を設定します。

注 – グラフィックカードの種類に合わない種類の補助電源ケーブルを使用すると、マシンの電源がオンにならない場合があります。

セカンダリ PCI-E x16 グラフィックカードスロットを設定するには、次の手順に従います。

1. プライマリグラフィックカードスロットにモニターを接続した状態で、ワークステーションを起動します。
2. Sun のロゴ画面が表示されたら、F2 キーを押して BIOS セットアップユーティリティを起動します。
3. 「Advanced (詳細)」メニューを選択します。
「PCI-E X16 VGA CARD SELECT」エントリに、どのスロットがプライマリグラフィックスロットであるかが定義されています。POST と起動処理の実行中に表示されるカードの情報は、このカードのみの情報です。
4. 「PCI Express Slot 3」(つまり、PCI-E 3) を選択して、PCI-E 3 グラフィックスロットを有効にします。
5. F10 キーを押して変更内容を保存し、BIOS を閉じます。

設置に関するトラブルシューティング およびドキュメント

この章では、ワークステーションに関する軽度の問題をトラブルシューティングする方法について説明します。また、テクニカルサポートを受ける方法についても説明します。

この章には次のセクションがあります。

- 22 ページの「[Sun Ultra 40 M2 Workstation の設置に関するトラブルシューティング](#)」
- 24 ページの「[テクニカルサポート](#)」
- 26 ページの「[Sun Ultra 40 M2 Workstation のドキュメント](#)」

Sun Ultra 40 M2 Workstation の設置に関するトラブルシューティング

ワークステーションの設置中に問題が発生した場合は、表 2-1 のトラブルシューティングに関する情報を参照してください。その他のトラブルシューティング情報については、『Sun Ultra 40 Workstation Service Manual (Sun Ultra 40 Workstation サービスマニュアル)』(820-0123) を参照してください。

表 2-1 トラブルシューティングの手順

問題	問題への対処方法
ワークステーションの電源がオンなのに、モニターの電源がオンになりません。	<ul style="list-style-type: none">• モニターの電源ボタンがオンになっていることを確認してください。• モニターの電源コードが電源コンセントに接続されていることを確認してください。• 電源コンセントに電力が供給されているかどうかを確認してください。確認するには、別のデバイスを差し込んでテストしてください。• モニターが内蔵ビデオコネクタ、または PCI-Express ビデオコネクタに接続されているかどうかを確認してください。
取り出しボタンを押したときに、CD または DVD を DVD スロットから取り出せません。	<ul style="list-style-type: none">• マウスを移動させるか、キーボード上のいずれかのキーを押してください。ドライブが低消費電力モードになっていることがあります。• ワークステーションにインストールされているユーティリティソフトウェアを使用して、CD を取り出してください。
モニター画面にビデオが表示されません。	<ul style="list-style-type: none">• モニターケーブルが PCI-Express ビデオコネクタに接続されているかどうかを確認してください。• モニターが、別のシステムに接続された場合に動作することを確認してください。• 別のモニターがある場合は、そのモニターを元のシステムに接続すると動作するかどうかを確認してください。• BIOS 設定が正しいことを確認してください。

表 2-1 トラブルシューティングの手順 (続き)

問題	問題への対処方法
<p>前面パネルの電源ボタンを押してもワークステーションの電源がオンになりません。</p>	<p>サービス担当者に連絡する必要がある場合は、次の情報を書き留めておいてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • システムの前面パネルにある電源ボタンの LED が点灯しているかどうか (電源コードが、システムおよび接地電源コンセントに接続されていることを確認してください)。 • 電源コンセントに電力が供給されているかどうか。確認するには、別のデバイスを差し込んでテストしてください。 • システムの電源をオンにしたときにピーブ音が鳴るかどうか (キーボードが接続されていることを確認してください)。 • 機能することがわかっている別のキーボードで試します。キーボードを接続してシステムの電源をオンにしたときにピーブ音が鳴るかどうか。 • 電源の投入後 5 分以内にモニターが同期するかどうか (モニターの緑色の LED が点滅を停止し、点灯状態になります)。
<p>キーボードまたはマウスが操作に反応しません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • マウスとキーボードが、ワークステーションの内蔵 USB 2.0 コネクタに接続されていることを確認してください。 • ワークステーションの電源がオンで、前面のプラットフォーム電源 LED が点灯していることを確認してください。
<p>ワークステーションが低消費電力モードのようだが、電源ボタンの LED が点滅しません。</p>	<p>すべてのワークステーションが低消費電力モードのときは、電源インジケータ LED が点滅します。テードライブがワークステーションに接続されている可能性があります。テードライブは低消費電力モードにならないので、電源インジケータ LED は点滅しません。</p>
<p>ワークステーションがハングしたり、動かなくなったりします。マウスやキーボード、またはアプリケーションから応答がありません。</p>	<p>ネットワーク上の別のワークステーションから使用しているワークステーションにアクセスしてみてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 端末ウィンドウで、ping <ホスト名> と入力します。 2. 応答がない場合は、別のシステムから telnet や rlogin を使用してリモートログインし、もう一度、システムを ping します。 3. システムが応答するまで、プロセスを強制終了してみます。 <p>前述の手順で解決しない場合は、次の操作を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電源ボタンを押してシステムの電源をオフにします。 2. 20 ~ 30 秒待って、システムの電源をオンにします。

テクニカルサポート

この章のトラブルシューティングの手順を使用しても問題を解決できない場合は、[表 2-2](#) を使用して、サポート担当者とのやり取りに必要な可能性がある情報を収集してください。[表 2-3](#) には、Sun のテクニカルサポートの Web サイトおよび電話番号が一覧表示されています。

表 2-2 サポートに必要なシステム情報

必要なシステム設定情報	お客様の情報
Sun サービス契約番号	
システムモデル	
オペレーティングシステム (サービスパック番号やアップデート番号を含む)	
システムのシリアル番号	
システムに接続されている周辺装置	
次の情報を含むハードウェア構成情報 <ul style="list-style-type: none">• 取り付けられているグラフィックカード• 取り付けられている PCI または PCI Express カード• メモリー容量• プロセッサの速度• 光学ディスクの種類	
お客様の電子メールアドレスと電話番号、および代理の連絡先	
システムの設置場所の住所	
スーパーユーザーパスワード	
問題の概要と、問題が発生したときに実行した操作内容	
診断テストの出力 (テストを実行した場合)	
その他の役に立つ情報	
IP アドレス	
ワークステーション名 (システムのホスト名)	
ネットワークまたはインターネットのドメインネーム	
プロキシサーバー設定	

表 2-3 Sun Web サイトおよび電話番号

ワークステーションのドキュメントおよびサポートリソース	URL または電話番号
現在の Sun Ultra 40 M2 Workstation ドキュメントすべてに対する HTML ファイルおよび PDF ファイル。	http://www.sun.com/documentation/
Solaris™ およびその他のソフトウェアドキュメント。この Web サイトでは全文検索機能を利用できます。	http://docs.sun.com/documentation/
ディスカッションおよびトラブルシューティングのフォーラム。	http://supportforum.sun.com/
すべての Sun 製品に関するサポート、診断ツール、および警告。	http://www.sun.com/bigadmin/
ソフトウェアパッチ、システムの仕様、トラブルシューティング、および保守の情報、その他のツールへのリンク。	http://www.sunsolve.sun.com/handbook_pub/
サービスサポートの電話番号。	1-800-872-4786 (1-800-USA-4Sun)、オプション 1 を選択します
各国の SunService サポートの電話番号。	http://www.sun.com/service/contacting/
保証および契約サポートの連絡先。その他のサービスツールへのリンク。	http://www.sun.com/service/warrantiescontracts/
すべての Sun 製品の保証。	http://www.sun.com/service/warranty

Sun Ultra 40 M2 Workstation の ドキュメント

Sun Ultra 40 M2 Workstation の設置に関する詳細情報については、次のセクションで説明するドキュメントを参照してください。

ドキュメントへのアクセス

これらのドキュメントの一部については、前述の Web サイトでフランス語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語、日本語、およびドイツ語の翻訳版が入手可能です。

ただし、英語版は頻繁に改訂されているため、翻訳版よりも最新の情報が記載されています。

ローカライズ版

本書の内容をフランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、繁体字中国語、簡体字中国語、韓国語、またはロシア語で読みたい場合は、『*Hardware Installation and Startup Guide for Compliance for Sun Ultra 40 M2 Workstation* (Sun Ultra 40 M2 Workstation 準拠ハードウェア設置および導入ガイド)』を参照してください。このガイドには、次の Web サイトからアクセスできます。

[http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/
Workstation_Products/Workstations/ultra_40/index.html](http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Workstation_Products/Workstations/ultra_40/index.html)

翻訳版のドキュメントには、本書で説明されている情報すべてのほか、Sun Ultra 40 M2 Workstation に関する追加情報も記載されています。